

第 24 回 淡路市議会報告会報告書

淡路市議会議長 土井 晴夫 様

令和 5 年 11 月 19 日

会 場 一宮公民館

班 長 冨永 康文

開催日時	令和 5 年 11 月 18 日 (土) 午後 2 時から 3 時 40 分
開催会場	一宮公民館
出席議員	議員氏名 (役割)
	(3 班) 冨永、靱谷、田中、岨下、多田、長瀬
参加者数	合 計 1 人 (うち男性 1 人)
式次第	開会挨拶 冨永 自己紹介 全員 フリートーク //
良かった点・今後の課題点等、何かあれば自由にお書きください。	毎回参加者が少ない一宮会場。悪天候かつ福祉祭りも重なり、参加者が 1 名だけで、事前質問を頂いていた方だけだったため、希望により、報告会も不要とのことで、イレギュラー対応として、その質問対応をメインにフリートークをすることにしました。 結果的には、議員の立ち位置や考え方等を話し合え、ご本人も積極的な意見交換ができたと評価を頂けたかと思います。但し、参加者があまりにも少ない点は残念であるとの声もありました。

●事前質問に対する意見交換の主な項目

- ・多賀保育所休園について、地元事情に詳しい粕谷議員から個別説明
- ・登下校時の見守り活動からの県道拡幅が進まない問題点については、市長の市政報告会にて直訴すること。民地買収交渉が進まない等の理由説明を長瀬議員より、個別説明。
- ・思いやり横断歩道の件では、信号機設置の工夫等を、議員も含め、行政としてどのように解決できるか真剣に向き合うのが職務であるのではとの指摘
- ・議員の立場の説明（執行権がなく、要望を伝えるのが基本だと）

●ごみ問題についての意見等

- ・削減目的は←ごみ排出量が県下でも多いのと、広域施設建設に向けての各市按分経費を下げる必要生等を説明
- ・粗大ごみ等の有効活用の取組みを。日本の「勿体ない精神」が世界でも評価。アメリカでは「ガレージセール」が盛況。←国内でも若者を中心にメルカリやジモティ、フリマ等が人気。行政イベント等でも広げたい。
- ・雑紙改修により、可燃ごみは減少していると思うが、リサイクルの方がコスト増になることもあり、検証する必要生は感じている。

●その他の話題

- ・タバコポイ捨て等マナーの悪い親を見て育つ子どもの躰の問題や「さん付け」指導する教育環境、学校現場環境への問題提起。
- ・ニックネームも禁止は、いじめ問題防止の意味もあるのだろう。
- ・インクルーシブ教育、人権やプライバシー保護が大前提となった今、昔とか違う感覚。「打たれ弱く」なっている日本国の教育方針。少し「やり過ぎ」「過保護」状態になっていることも感じる。
- ・印鑑不要時代になっていく中、ALTに印鑑出勤簿式管理が時代遅れでは
- ・教育委員は、元教師OBが多い現状。民間経験者を増やすべき
- ・教師や親への教育の必要生も
- ・今後の未来を担う子どもへの教育を再度考えてほしい